

# 留 学 報 告 書

記入日: 2014年2月13日



所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部経営学科		
留学先国	オーストラリア		
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: マーティンカレッジ 現地言語: Martin College		
留学期間	2013年7月～2013年11月		
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)		
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)		
留学先での所属学部等	マーケティング学部		
帰国年月日	2014年1月21日		
明治大学卒業予定年	2014年3月		
<b>留学先大学について</b>			
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他		
学年暦	5週間1ブロック		
学生数	不明		
創立年	1976年		
特徴	シティの中心部に位置している。留学生の割合が高い		
留学費用項目	現地通貨 (オーストラリアドル)	円	備考
授業料	7,200	662,000円	
宿舍費	2,800	258,000円	ルームシェア月々560ドル
食費	1,500	140,000円	
図書費	0	0円	授業料に含まれる
学用品費	0	0円	授業料に含まれる
教養娯楽費	1,000	93,000円	旅行、パーティーなど
被服費	200	18,500円	
医療費	0	0円	5回ほど診察をしたがいずれも保険でカバー
保険費	1,500	150,000円	形態: OSHC という学生全員が入らなければならない保険 とは別に、AIU 留学生保険に加入していた
渡航旅費	-	138,000円	
雑費	1,000	93,000円	ビザ費用
その他	250	23,000円	携帯電話月々およそ20ドル、電話本体 150ドル
合計	15,550	1,430,600円	

## 渡航関連

**渡航経路:** 成田—仁川(韓国)—ブリスベン

**渡航費用**

チケットの種類	フレキシブルチケット
往路	69,000 円
復路	69,000 円
合計	138,000 円

**渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。**

特になし

**取得したビザについて教えてください。**

**ビザの種類:** 学生ビザ

**ビザ取得方法:** インターネットで申請。その後指定病院で健康診断を受診。

**その他渡航やビザ取得に関してアドバイスがあれば教えてください。**

時期によって健康診断の予約が取りにくいので、余裕を持って行動しましょう。

## 滞在形態関連

**1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)**

ホームステイとアパート

**2)部屋の形態**

個室 OR  相部屋(同居人数 2)

**3)住居を探した方法:**

住宅情報サイトを利用し、5 件ほど内見をして決めました。

**4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)**

住居それ自体よりも、ハウスメイトやルームメイトの雰囲気の方が大事だと思います。良いシェアメイトに出会えれば、その人はあなたの一生の友人になるでしょう。

## 現地情報

**1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?**

利用する機会が無かった

利用した: キャッシュレス可能な病院で診てもらっていました。日本人の通訳の方が常についてくださったため、安心して受診できました。

**2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。**

ほとんどの問題は友人に相談することで解決していました。留学先に相談窓口はありましたが、利用する者はほとんどいないように思えました。

**3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?**

現地のニュースをテレビやインターネットでこまめに確認するようにしていました。

**4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。**

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学内のインターネットはとても安定していました。しかし、基本的に自宅用のインターネットはどの家も天候などの理由で不安定になりやすかったです。携帯電話の電波やインターネットも日本と比べると不安定でした。

**5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)**

現地で口座を開設して、日本にいる両親から送金してもらいました。パスポートさえあれば口座を開くことができるのでとても簡単でした。学生用のプランもあるので現地の銀行員に相談するとよいと思います。

**6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。**

化粧水、洗顔料、ファンデーションは、自分に合うものを見つけるのがとても大変なので、日本から多めに持っていきましょう。その他のたいいていのものは、アジア食料品店や 100 円ショップなどで手に入れることができます。

## 進路について

1) 進路	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:	
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など	
明治大学で催される各種就職活動報告会、会社説明会、マイナビやリクナビなどの就活サイト	
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)	
株式会社アサツーディ・ケイ	
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)	
就職活動のアドバンテージになるからという理由で留学をしようとしているなら、やめたほうがいいと思います。留学中の小さな気づきが自分の志望業界を定める大きなきっかけとなることもあるので、細かくメモしておく癖をつけておくいいと思います。	
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。	
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。	
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。	
<b>学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)</b>	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Business Forecasting	国際ビジネスの展望
科目設置学部・研究科	マーケティングコース
履修期間	7月~8月
単位数	-
本学での単位認定状況	-単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に255分が2回
担当教授	Peter McIntosh
授業内容	オーストラリアの企業が日本に進出することを仮定し、企業や国をSWOT,PESTEL等のツールをつかって分析。AMI(Australian Marketing Institute)の会員になり、講義や記事を要約。
試験・課題など	企業分析結果を実際の企業でやり取りされているような報告書形式でまとめる。(BriefとProposalのレポート2つ)、AMIの記事要約
感想を自由記入	レジュメに沿って授業を行うというよりは、教授が自由に講義を進めていく形式であった。日本の経済や政治についてよく聞かれた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Market Trend	市場トレンド
科目設置学部・研究科	マーケティング、ビジネスコース合同授業
履修期間	7月～8月
単位数	-
本学での単位認定状況	-単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に255分が2回
担当教授	David Cawley
授業内容	市場のトレンドを読むために必要なマーケティング基礎知識、各データの読み取り方
試験・課題など	データに基づき、各企業の強みや弱みを分析、比較、今後のマーケティング戦略を策定、街頭でアンケートをとり、データ分析、レポートとプレゼンテーション
感想を自由記入	課題の量が多すぎて、いつも追われているように課題を進めていた。留学生にとって、街頭アンケートはつらいものがあったが、オーストラリア人のクラスメイトが助けてくれた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
International Market Analysis	国際市場分析
科目設置学部・研究科	マーケティングコース
履修期間	8-9月
単位数	-
本学での単位認定状況	-単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に255分が2回
担当教授	Peter McIntosh
授業内容	国際市場の動向を分析し、企業の国際進出への戦略を考える授業
試験・課題など	ケーススタディー読解、提示された企業を提示された国に進出する際の分析レポート、プレゼンテーション
感想を自由記入	グループワークだったため、話をまとめる、議論を進める、スケジュールを合わせるのに苦労した。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Marketing Essential	マーケティングエッセンシャル
科目設置学部・研究科	マーケティング、ツーリズム合同授業
履修期間	10-11月
単位数	-
本学での単位認定状況	-単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式
授業時間数	1週間に255分が2回
担当教授	James Boccabella
授業内容	マーケティングの基礎知識、4Pを中心に、企業のケーススタディ
試験・課題など	実在する企業の Brand expansion を企画、企画プレゼン企画書の作成。ケーススタディの練習問題
感想を自由記入	ケーススタディをするにあたって予習を入念に行わなければならなかったのが大変だった。プレゼンテーションは、内容だけでなく、パフォーマンスの面でも厳しく評価された。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Market Evaluation		市場評価	
科目設置学部・研究科	マーケティング、ツーリズムコース合同授業		
履修期間	8-9月		
単位数	-		
本学での単位認定状況	-単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に255分が2回		
担当教授	Peter McIntosh		
授業内容	企業の環境分析についての基礎知識やケーススタディ。		
試験・課題など	オーストラリアに実在する2企業の環境分析、BriefとProposal Reportの作成		
感想を自由記入	レジュメに沿わず、教授が自由に講義を進めていくスタイルであったため、慣れるまで重要なポイントを聞き取るのが大変だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Cross Cultural Understanding		異文化理解	
科目設置学部・研究科	マーケティングコース、ビジネスコース合同授業		
履修期間	9-10		
単位数	-		
本学での単位認定状況	-単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に255分が2回		
担当教授	Susan Thompson		
授業内容	異文化理解、インターナショナルなビジネスの場で、関係を構築するためには？ Linked-inを使ったビジネス関係構築、ゲスト講師を招いて海外で働くとは？を学ぶ		
試験・課題など	Linked-inでのビジネス関係の構築、異文化理解に関する問題演習、ビジネス交流会への参加と名刺交換、留学生向けビデオの作成		
感想を自由記入	机に向かって授業を受ける、課題をこなすというよりは、実際に自分の足を使って現地に赴くものが多かった。自分のこれからの社会人生活にも役に立つ内容だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Market Research			
科目設置学部・研究科	マーケティングコース		
履修期間	9-10月		
単位数	-		
本学での単位認定状況	-単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に255分が2回		
担当教授	David Cawley、Peter McIntosh		
授業内容	企業がマーケティング調査を行う際の計画書の作成方法を学ぶ		
試験・課題など	マーティンカレッジのカフェテリア内に新規カフェをオープンする計画を行う際に必要な調査の計画書や基礎データの作成、プレゼンテーション		
感想を自由記入	課題には細かい評価基準が求められているので、それらすべての基準を満たすように仕上げるのがとても大変だった。チームワークだったので、予定を合わせるのが大変だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Marketing Management			
科目設置学部・研究科	マーケティングコース		
履修期間	8-9月		
単位数	-		
本学での単位認定状況	-単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式		
授業時間数	1週間に255分が2回		
担当教授	David Cawley		
授業内容	マーケティングチームの役割、チームの動かし方、企画書の書き方、議事録の書き方、プレゼンテーションの仕方		
試験・課題など	グループワーク;グループをマーケティングチームと仮定、マーケティングプラン作成から戦略実施のスケジュールリング、企画書の作成まで。まとめたものをプレゼンテーション		
感想を自由記入	レジュメに沿ってパワーポイントを使って授業が行われるので、予習復習がしやすかった。教科書の巻末に載っている参考文献を有効活用した。		

留学に関するタイムチャート
---------------

**留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。**  
 (形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2013年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>-就職活動終了</li> <li>-保険</li> <li>-送金準備</li> <li>-ホームステイ先の決定</li> <li>-入学準備(書類提出など)</li> </ul>
4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>-現地口座開設</li> <li>-携帯電話の契約</li> <li>-新しい家探し(ホームステイの契約が1ヶ月のみだったため)</li> <li>-入学前に語学学校にてプレゼンテーションの方法やレポートの書き方を学ぶ</li> <li>-入学</li> </ul>
8月～9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>-課題レポートの作成、プレゼンテーション</li> <li>-明治大学留学奨学金への出願</li> </ul>
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>-課題レポートの作成、プレゼンテーション</li> <li>-卒業</li> </ul>
2014年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>-帰国準備(銀行口座、携帯電話の解約)</li> </ul>
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	所属ゼミ 2 年間でマーケティングを学び、様々な文化的背景を持った学生と共に、日本だけでなく世界基準のマーケティングを学ぶことに深い興味を持ったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	論文の書き方が日本とは大きく異なるので、構成など事前に勉強しておくスムーズだと思えます。授業では日本の経済や政治について質問されることが多かったので、あらかじめ理解を深めておくとういです。
この留学先を選んだ理由	明治大学にはないコースであること、半期留学ではなく、コースすべての授業を履修できるため、体系的な知識の会得ができると考えたからです。また、コース終了後ディプロマが取得できるので、学習のモチベーション維持にもつながると考えました。
大学・学生の雰囲気	大学を卒業後、更なる専門的分野を深めるために、ここで学ぶ生徒、社会人、主婦、私のような留学生など、様々な背景を持った学生が集まっています。授業後には図書館やコンピュータールームに残って勉強をする学生が多かったです。
寮の雰囲気	
交友関係	授業でグループワークをする機会が多かったので、クラスメイトとは自然と仲良くなり、放課後や休日はよく一緒に遊んでいました。最終課題提出後には、ホームパーティや BBQ で打ち上げをしました。同居人とも仲良く、よくホームパーティをしていました。
学習内容・勉強について	マーケティングを専攻しましたが、先生によって授業スタイルは大きく異なりました。頻繁に発言することを求められるので、それがプレッシャーとなり、生徒はみな授業に集中していました。ゲスト講師を呼び、講演を行うことも多くありました。
課題・試験について	試験はありませんでしたが、大量のレポート課題とプレゼンテーション課題が出されました。チームワークの課題も多く、意見がまとまらず苦戦することも多かったです。ローカルの学生よりも、語学の面でハンデキャップがある分、準備に多くの時間を費やしました。
大学外の活動について	将来の自分のキャリアを考える上で、商社や銀行、広告など、こちらで働く日本人の方に OB 訪問をしていました。また、現地の飲食店でアルバイトをしたことは、英語力向上させ、交流を広げるともいい機会になりました。
ある平日のスケジュール	7 時:起床 8-12 時:授業 12-13 時:昼食 13-15 時:授業 15-17 時:課題ミーティング 18 時-20 時:帰宅、夕食など 21-23 時:英語学習、課題など 0 時:就寝
ある休日のスケジュール	9 時:起床 10-12 時:市場やスーパーで買い物 12-14 時:友人と昼食 15-16 時:ジムで運動 16-18 時:掃除、勉強など 18-20 時:夕食、シャワー 20-23 時:ハウスメイトとおしゃべり、映画など 24 時:就寝
留学を志す人へ	留学に行こうか悩んでいる人。100 個の行かない理由より、1 つの留学に行きたい理由を大切にしてください。その 100 個はどうにでもなるようなことがほとんどです。これから留学に行く人。留学の目的を見失わないようにしてください。どんな自分になりたいのか、何がしたいのか、ビジョンを持っているのといないのでは、留学後得るものがまるっきり違ったものになると思います。